

# 明日香における歴史展示実施計画 [概要版]

平成23年3月 奈良県作成

## 歴史ストーリーの作成

- 平成21年度策定の「明日香における歴史展示等のあり方基本方針」に基づき、来訪者に分かっていたいただきたい明日香の歴史を、**歴史ストーリー**として作成
- 具体的には、歴史上の人物を語り部として、「**通史ストーリー**」及び「**国家の成立**」「**仏教の伝来と興隆**」「**東アジア文化の受容と変容**」という3つのテーマを切り口とした「**テーマストーリー**」を作成

### 通史ストーリー

<語り部>  
稗田阿礼

#### 【1】古墳時代から飛鳥時代へ

仏教の伝来は、ヤマト政権の権力構造に波紋を投げかけます。東アジアの動きを重要視する崇仏派の蘇我氏が、物部氏を退けて政権内での主導権を握り、政治改革を進めていきます。為政者としての支配権力の表現も、古墳築造から寺院建設へと変化していきました。

#### 【2】推古天皇と聖徳太子と蘇我氏の時代

隋の中国統一により、東アジア世界に緊張感が走ります。推古女帝と聖徳太子の摂政という体制で、豪族や皇族間の権力争いを鎮めるとともに、隋との対等外交を画策し、国際社会での日本の地位確立を目指しました。冠位十二階や憲法十七条の制定は、大陸の文化に学んだ、天皇を中心とする中央集権体制の試案ともいべきものでしょう。

#### 【3】大化改新から天智天皇の時代

隋から唐への政変の情報は、蘇我氏独裁体制の打倒の動きを引き出し、大化改新が起こります。天皇を中心とする中央集権体制の整備を進める日本は、友好国である百濟滅亡に際して、その救援に動きまわります。しかし白村江の戦いで敗戦により国家存続の危機に追い詰められ、防衛力と内政の強化の必要に迫られた日本は、中国に倣った律令体制の導入へと動き出しました。

#### 【4】壬申の乱から飛鳥京の時代

壬申の乱は、近江朝廷に加盟していた旧来の大勢力を一掃します。この乱に勝利した天武天皇は、神格化される程の大きな権力を握り、天皇を中心とする中央集権体制を確立します。天武天皇は律令や国史の編纂に着手するとともに、律令国家にふさわしい新都の造営も計画します。これらの事業は持統天皇へと引き継がれ、天武・持統天皇の「飛鳥京の時代」に、国家としての骨格が整えられていきました。

#### 【5】藤原京から平城京へ

中国と肩を並べる国にふさわしい都城として、694年に藤原京が完成しました。ここで即位した文武天皇は、701年に大宝律令を制定、翌年に「日本」の国号を掲げて遣唐使を派遣します。しかし唐で得た新たな情報は、さらなる新都の建設と大宝律令の修正の必要性を示唆しました。このことは平城京建設、養老律令編纂へと進展していきました。

### テーマストーリー

#### 国家の成立

<語り部>  
藤原不比等

【1】飛鳥時代以前の日本

【2】推古朝の政治

【3】大化改新

【4】壬申の乱

【5】飛鳥京の時代

【6】藤原京の時代

#### 仏教の伝来と興隆

<語り部>  
道昭

【1】カミの崇拝

【2】東アジアと仏教

【3】崇仏論争

【4】仏教興隆策

【5】天皇集権と仏教

【6】国家仏教への動き

#### 東アジア文化の受容と変容

<語り部>  
南淵請安

【1】4、5世紀の日本

【2】東アジアの中の日本

【3】陰陽五行と古代の思想

【4】大陸の先進技術

【5】漢字と万葉仮名

歴史展示の具体的な内容

## 今後、歴史ストーリーに基づき明日香村全体で歴史展示を展開

### 万葉文化館の整備

#### ■万葉文化館の機能

- 歴史展示機能**  
飛鳥時代の歴史を紹介する施設としての役割を果たし、通史と3つのテーマに沿った展示を中心に構成
- 明日香を回遊するための情報紹介**  
・回遊コースの案内（短時間コース、テーマ別コース）  
・他の拠点施設「飛鳥資料館」「キトラ公園」への案内マップ、各施設のリーフレット等の配布
- 中南和地域の観光情報発信拠点**  
・バスターミナルとしての機能  
・レンタサイクルの貸し出し  
・休憩機能、レストラン機能



23年度  
整備基本計画



24年度  
基本・実施設計



25年度  
改修工事

### 飛鳥京跡苑池の整備

#### ■飛鳥京跡苑池の機能

- 発掘調査、基本構想等を踏まえ**復原整備**を行うとともに、以下の機能を持たせる方向で今後検討を進める
- 歴史体験機能**  
飛鳥京跡苑池の当時の様子を、バーチャル映像等により再現し、苑池について理解を深めてもらう
- 歴史展示機能**  
苑池遺跡の発掘・調査・研究成果を紹介するとともに、万葉文化館と連携してテーマストーリーを切り口に苑池の歴史的意義を展示。映像やQ&A形式等の手法を用い、楽しみながら歴史に触れてもらえるよう工夫
- 周辺史跡の案内・紹介機能**  
飛鳥京エリアの解説・案内機能を持たせる
- 付加的機能**  
便益サービス拠点として、トイレ・休憩コーナー等を設置。また、各種イベントプログラムの実施等についても今後検討を進める



23年度  
用地買収・発掘調査等



23~24年度  
基本計画等

25~28年度  
整備工事

### 寺院・遺跡等での歴史展示

- 万葉文化館での展示と連携して、各寺院・遺跡等においても歴史的意義について様々な切り口から解説を行う
- 英語だけでなく、中国語やハングルなど多言語表記についても配慮



### 回遊コースの設定

- 回遊コースの起終点は、明日香のゲートウェイである万葉文化館
- 短時間コース**  
修学旅行や校外学習等を主たる対象とし、1~3時間のコースを設定
- テーマ別コース**  
「国家の成立」など3つのテーマによるモデル回遊コースを設定

### 歴史回廊の整備

- 回遊コースにおいて、歴史物などがない歩道や空地などに解説ポイントを配置し、その周辺における歴史を解説する  
※例えば、地図上の●ポイント
- 各解説ポイントでは、出来事や事件などの歴史的現象、関連する人物、かつてあった施設や現存する施設、遺物など、様々な切り口から歴史情報を紹介



歴史展示推進のための具体的な整備

## 明日香の歴史展示推進により

- 明日香を訪れる方に感動を与える
- 歴史の変遷を振り返ることで、日本の新たな基軸を発見・再構築する
- 明日香及び中南和の地域活性化を図る